

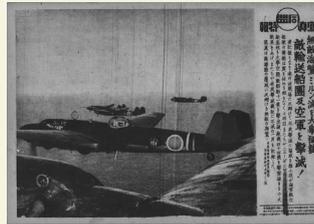
コーナー展示

『同盟写真特報』でみる戦争

今年は戦後75年。戦時中の広報資料約100点で当時の世相を振り返ります。

とき 6月13日(土)～7月12日(日)
午前10時～午後5時

ところ 特別展示室



「妖怪うちわ」をつくろう

塗り絵でオリジナルうちわを作ります。
たくさんの妖怪がキミをまっているゾ～。

とき 6月13日(土)～7月12日(日)
午前10時～午後5時

ところ 1階ロビー

参加費 無料 ※申し込み不要



もうかれこれ30分以上もパソコンの前に座って白紙の画面を見つめている。今月は書くことがない。というのは新型コロナウイルスの影響で感染拡大防止のために水族館も臨時休館しており、これといって大きな出来事がないのです。何かネタがないかなと、館内に話題探しに出ても当然お客さんは誰もいないのです。



開館していればこんな時、ふと偶然に失恋しました、悪い男に騙されました含有率70パーセントの気配を出して落ち込んでいるT橋奈々子(仮名29歳)などと出合い館内で話を聞いてなぐさめたり、車の運転免許を取ったばかりで大学の卒業旅行で三重県から来たという浅野留M子(仮名22歳)と本田R沙(仮名23歳)の2人組がウツボ水槽にくぎ付けになっており、良かったら水槽の裏側に特別にご案内しましょうか、などといった魅惑の出来事も起こるかもしれないのだ。しかし、現状の館内には工サの入った大きなバケツを持って走り回る平松涼太郎(実名22歳・飼育員)の姿しかない。さして何の魅力もない。

水槽の中の魚たちはお客さんに見てもらってこそ水槽の中で泳いでいる意味があります。見てもらうことで海から来た価値や魅力が輝きます。早く終息して、また館内がお客さんの楽しそうな声であふれるのを願ってやみません。